



臨検タイムス香川

一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：荒井 健

日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第51回)を終えて

学会長 荒井 健 (香川大学医学部附属病院)

平成30年度中四国支部医学検査学会は、やや肌寒さを感じるもの快晴の下、サンポートホール高松、かがわ国際会議場で開催されました。参加者は会員1156名、学生・賛助会員・企業関係者等を含めると1623名と、予想を上回る多くの皆様にご参加いただき盛会裏に終了することができました。開催に当たりましては、いろいろとご支援・ご協力いただきました香臨技の皆様、賛助会員の皆様に心より感謝申し上げます。

本学会は、平成29年4月20日に第1回学会準備委員会を開催し、その後、準備委員会4回、実行委員会15回を重ねました。当初は学会テーマの決定、運営会社の選定、実行委員の選出等の大まかな骨組みの決定から入りました。平成29年9月9日に高松赤十字病院で第1回実行委員会を開催し、52名の実行委員と運営会社のエス・ティー・ワールド社で構成された実行委員会のキックオフを行いました。

学会テーマは会員に公募のうえ、応募いただいたテーマを学術部会・理事会で検討し、いくつかの候補をまとめる形で「未来設計～Turning Point 今すべきこと～」といたしました。少子高齢化が進行している現在、医療・介護分野は大きなTurning Pointを迎えています。また、ゲノム医療、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を活用した医療など、新しい医療が広がって行こうとする未来に向けて、今何をすべきか考えようという意味を込めました。

学会ポスター・チラシのデザインには、直島にある草間彌生さんの作品の赤かぼちゃを香川県立保健医療大学の多田先生が撮影していただき、通常の赤かぼちゃの写真とは違ったインパクトのあるものが出来上がりました。学会ホームページやポケットプログラムの表紙、学会当日の立て看板など、本学会の象徴として随所に利用されました。

昨年の山口県での中四国支部医学検査学会でも本学会のPR活動を行いました。松村実行委員長のご尽力により、青鬼くん・オリーブちゃん・さっきーという3体の着ぐるみを宅配便で下関まで搬送し、実行委員有志が交代で中に入り会場を練り歩きました。着ぐるみに入っていたいだいたいの方はなかなか重労働だったと思いますが、1体ではなく3体いたということで、参加者にかなり印象付けることはできたと思います。

昨年末から今春にかけては、特別企画の内容および演者の決め方が、中四国支部幹事会で決定した手順と異なるという指摘を他県の方から受け、4月に発送した学会案内冊子は、技師会会員の演者名を入れずに作成するという苦肉の策で乗り切りました。これに関しては、本年6月に行われた中四国支部幹事会等で議論し、先日配布された支部学術部門申し合わせでは、ほぼ今回の香川県が行った手順に則した内容になっており、苦労が報われる形になりました。

6月以降になると協賛企業の募集が思うように集まらないということで、募集締め切り後も日程的に許されるぎりぎりまで各企業にお願いし、何とか最低限の数はクリアすることができました。一般演題も目標200題としていましたが、最初の締め切りの段階では102題と約半数しか集まっていませんでした。その後、2回の締め切り延長と各県会長、研究班部門長などへの応募依頼を行い、最終的に186題と概ね満足できる演題数を集めることができました。

終盤に差し掛かった8月頃には、一般演題プログラム編成、座長推薦依頼、ポケットプログラム編集作業、来賓出席依頼、会場視察、サイン表示内容・配置の検討、実務委員の役割分担作成など、松村実行委員長、エス・ティー・ワールド納富さんを中心に直前まで準備作業に追われました。

11月11日に実務委員に対する学会当日の業務説明会を兼ねた決起集会を開催しました。実務委員の中には、この日初めて自分の役割を知った人もいて不安な思いをされたかと思いますが、本番までの2週間足らずの間に担当部門のメンバーで調整していただくことになりました。学会前日の会場設営にも、会場責任者など主要メンバーに視察に来ていただき、本番に備えていただきました。

学会当日は、開会式に日臨技から宮島会長にご出席いただき、特別講演開始前にはお忙しい中、浜田香川県知事にもお出でいただきご挨拶を頂戴しました。学会運営においては、心配された開始時の受付の混雑も予想していたほどの混亂もなく比較的スムーズに流れっていました。講演会場でマイクのトラブルが一部であったようですが、運営会社スタッフに対応していただき、何とか無事進行することができたようです。第1会場の収容人数が多くなったため空席が目立つ感じになりましたが、その他は概ね会場の集客もよかったですと聞いています。情報交換会では、西原副知事、大西市長にもご挨拶いただき、香川県立保健医療大学ダンスサークルの皆様の演技や、次年度開催県である島根県技師会、来年の全国学会開催県の山口県技師会の皆様にもPR活動で会場を盛り上げていただきました。

以上のように、高橋前会長が進めていただいている準備段階から含めると2年近くに渡る長丁場でしたが、2日間の学会全体を通して大きなトラブルもなく予定していた内容を順調にこなすことができました。ご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた実務委員、運営スタッフ、賛助会員、協賛企業の皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。また9年後の開催時には、今回運営にご協力いただいた若い方々が力を合わせて、さらに素晴らしい中四国支部医学検査学会を開催していただくことを祈念いたします。

《研修会のご案内》

① 平成30年度 第1回 染色体遺伝子・免疫血清検査合同研修会

連絡責任者：南原しづえ ☎ 0877-62-1000、谷本 光章 ☎ 087-877-0111
日 時：平成31年1月20日（日）13:00～15:30
場 所：四国こどもとおとの医療センター 5F会議室1・2
内 容：講演1. がんゲノム医療に関する最新の話題～遺伝子パネル検査について～
中山 寛之（システムズ株式会社 LS事業本部 LS営業部）
講演2. B型、C型ウイルス肝炎診療における臨床検査のポイントと知っておきたい最新情報
近藤 雅紀（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 遺伝子診断事業部
遺伝子 & LSマーケティング部 ウィルス・結核検査グループ）
参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

② 平成30年度 日臨技中四国支部 病理細胞部門研修会

連絡責任者：虫本 一平 ☎ 0875-52-3366
日 時：平成31年1月26日（土）12:30～17:00（受付12:00～）
場 所：広島赤十字・原爆病院 9階 講堂
内 容：テーマ：病理も細胞診もどちらも極める
講演Ⅰ：免疫細胞病理学の基礎～リンパ節病変の基本的な見方、考え方～
船本 康申（総合病院回生病院）
講演Ⅱ：きれいな標本を作るために～プロセッシングここがポイント～
篠田 宏（サクラファインテックジャパン株式会社）
講演Ⅲ：薄切時に起きる現象と対策～広臨技“技”の続き編～
山本 竜一（大和光機工業株式会社）
講演Ⅳ：病理診断に用いられる一次抗体の選択と染色性
芹澤 昭彦（東海大学医学部付属病院）
教育講演：肺癌におけるTTF-1,p40,ALK,免疫パネルを用いた精度管理 -JPQAS 2017年度事業から－
羽場 礼次（NPO法人日本病理精度保証機構 教育・研修委員会 委員長）
参加費：2,500円（テキスト代込み、事前振り込み）
申込み：日臨技HPの会員専用サイト（事前参加登録）からお申込みください
定 員：80名

③ 平成30年度 愛臨技・四県合同研修会（輸血検査研究班）

主催：(一社) 愛媛県臨床検査技師会
連絡責任者：徳住 美鈴 ☎ 087-831-7101（内線8307）
日 時：平成31年1月27日（日）13:00～16:30
場 所：愛媛大学医学部 総合教育棟2階 基礎第二講義室 〒791-0295 愛媛県東温市志津川454番地
内 容：12:30～13:00 受付
13:00～16:00 講演（仮）精度保証で求められている管理とは何か？
～自動機の特徴とメーカー添付文書から解説～
古杉 光明（オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
イムノヘマトロジー事業部）
16:00～16:30 講演「ISO取得病院からの報告」 井上 信行（愛媛県立中央病院 輸血部）
参加費：2,000円（＊非会員は5,000円） 当日徵収致します。 生涯教育研修：専門 20点
問合せ先：愛媛県立中央病院 輸血部 片岡 美紀
TEL：089-947-1111 FAX：089-998-7585 Email：c-miki@eph.pref.ehime.jp

④ 平成30年度 一般検査研修会

連絡責任者：永田 啓代 ☎ 0877-62-1000
日 時：平成31年2月8日（金）19:00～20:30
場 所：キナシ大林病院 3階会議室
内 容：一般検査部門の精度管理について
講師未定（BIO-RAD株式会社）、（システムズ株式会社）、
永田 啓代（四国こどもとおとの医療センター）
参加費：200円 生涯教育研修：専門20点
備 考：詳細は、日臨技HPまたは別添案内状をご参照ください。

⑤ 平成30年度 第5回生理検査研修会

連絡責任者：近藤 英俊 ☎ 087-831-7101
日 時：平成31年2月17日（日）10:00～12:00
場 所：高松赤十字病院 中央診療棟4階会議室
内 容：頸部領域の超音波検査～頸動脈・甲状腺を中心に～
参加費：200円 生涯教育研修：専門20点
申込み：日臨技ホームページから事前登録してください。

*** 研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。**

注：臨床検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。
尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

* 研修会については、香臨技、および日臨技ホームページをご参考下さい。

* 急を要するお知らせがある場合は、メールアドレスへの一斉配信を行います。

日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第51回)に参加して



石井 康友（屋島総合病院）

第51回中四国支部医学検査学会に実行委員（広報）として参加させていただきました、屋島総合病院の石井です。荒井学会長、松村実行委員長、運営会社のエス・ティーワールド様をはじめ、実行委員、実務委員の皆様ほんとうにお疲れ様でした。学会当日は2日間で1000名を超える方に参加して頂き、大きなトラブルもなく大盛況のうち終えることができました。

私は広報（サブ）という役割でしたのでほとんど準備に携わることはなかったのですが、20回近く行

われた実行委員会の資料を確認しているうちに、すごく細かいところまで打ち合わせがされており、学会を開催するのはとても大変なことなんだなあと感じていました。学会の2週間前に行われた決起集会で自分の役割を確認し、学会に参加している方はもちろん、残念ながら参加できなかった方にも学会の雰囲気や内容が伝わるように写真と記録を残そうと思い、学会当日を迎えました。

学会初日の朝はすごく冷え込み、コートを着ている方が多くみられました。最初の仕事は開会式の写真撮影でしたが、写真をとるポジションや構図など難しくなかなか自分の納得のいく写真が撮れませんでしたが、様々な会場を周り写真撮影を行いました。学会の内容は日臨技企画では宮島会長による日臨技の現状の講演や医療法等の一部改正の説明があり多くの聴講者が訪れていました。また、浜田県知事によるご祝辞も頂きました。一般演題や特別講演1（肺を理解するためのいくつかのPitfall・佐藤功先生）・文化講演（笑う門には福来たる・桂こけ枝師匠）・特別講演2（脂質代謝からみた糖尿病・村尾孝時児先生）を聴講しながら、空いた時間に写真撮影を行いました。情報交換会では2019年に山口県で開催される全国学会の紹介・島根県で行われる中四国学会の紹介、香川県立保健医療大学・ダンスサークルによるパフォーマンスが行われ、大盛況でした。

閉会式の挨拶で中四国支部長の水野様が「香臨技、最高でーす！」と言った一言がすごく心に残りました。香臨技の会員一丸で学会成功に向けて頑張って、香臨技の力を見せつけることのできた学会になったと感じました。

学会へ参加してみて様々な企画は学術部長や研究班の方が一生懸命考えられたものであり、ほんとうに勉強になりました。実際に日常業務への導入を検討したくなる項目が多くありました。そして横の繋がりができ、学生時代の友人にも会うことができました。学会の写真は臨検タイムスや香臨技のホームページで掲載する予定です。また9年後に香川県で開催される中四国支部医学検査学会の参考にしていただければ幸いです。

ボランティア活動報告

平成30年11月18日（日）国分寺地域保健活動センターで開催された「第12回 健康まつり まんでがん診療所」のイベントに臨床検査技師3名が参加しました。看護師による問診と血糖測定の後、技師がHbA1c測定を行いました。他に体組成チェックや骨密度測定も行われていました。医師や歯科医師、薬剤師、管理栄養士による健康相談コーナーや糖尿病食の試食会（もち麦ごはん、豚汁）もあり、イベントは大盛況、来場者数は約100名でした。



（血糖・HbA1c測定）



（健康相談）

第43回香川県医学検査学会のご案内、および一般演題募集のお知らせ

会期：平成31年4月21日（日）

会場：香川県立保健医療大学 講義棟3階大講義室（予定）

テーマ：「チーム医療が求める臨床検査技師（仮題）」

つきましては、下記の要領にて一般演題を募集いたしますので奮ってご応募ください。

記載事項：①会員番号、②氏名（漢字）、③氏名（カナ）、④所属（施設名）、

⑤連絡先の電話番号、⑥演題名、⑦発表内容の部門、

⑧E-Mailアドレス（携帯電話アドレスの場合は、下記アドレスを受け取れるように設定してください）

演題締切：平成31年1月31日（木）

抄録締切：平成31年2月15日（金）

発表形式：口演7分、質疑3分（PowerPointに限る PCプロジェクターを使用）

申込先：高松赤十字病院 長町 健一

TEL：087-831-7101（内線1560）、E-Mail：954nb9@bma.biglobe.ne.jp

※一般演題は、学生および賛助会員の方からも受け付けています。

日臨技 会費納入 および 入会手続き・退会申請について

平成31年度年会費は、ご登録の口座から平成31年2月27日（水）（予定）に **年会費10,000円および香川県会費7,000円** の合算された額が引き落とされますので、銀行口座の残高をご確認くださいますようお願いします。

また、平成31年度に入会（新入会・再入会）を希望される方、および平成30年度で退会を希望される方は所定の手続きを行ってください。詳しくは、日臨技ホームページをご参照ください。

・編集後記・

11/24（土）、25（日）中四国支部医学検査学会が香川県にて開催されました。久しぶりに会う友人との会話や他県の技師と交流ができるのは、学会だからこそです。一般演題をはじめ、特別講演やシンポジウム、ハンズオンセミナー等で得た知識や技術は必ず業務の糧となるでしょう。また、学生フォーラムでは学生さんが「私の目指す臨床検査技師像」として、専門的知識の習得はもちろんのこと、チーム医療への参画と患者様に寄り添う技師になりたいと発表されました。これを聞いて、臨床検査技師の未来は明るいと確信を持つことができました。



さて、年末恒例の今年の漢字は「災」でした。西日本豪雨や北海道地震、相次ぐ強い台風や記録的猛暑。大規模災害のなかで、人と人との繋がりが心の支えになった方も多いと思います。来年は“災い転じて福となす”、冬の夜空を照らすふたご座流星群の星たちに繰り返し願いをかけました。

小林 万代（海部医院）

～香臨技 求人情報～

現在、香川大学医学部附属病院、その他の求人があります。

詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：立石 謹也（福祉部長・香川県立保健医療大学）

アドレス：tateishi@chs.pref.kagawa.jp

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール：kobabooobu0128@hotmail.co.jp

***臨検タイムス香川は、香臨技ホームページで見ることができます。**

(ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001)

臨検タイムス香川 通巻281号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 森西 起也

【印 刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成30年12月印刷・発行